

## 令和7年度 学校評価書(共通) 前期

校名 宇和島市立日振島小学校

### 1. 自己評価書

教育目標		郷土への誇りと深い愛着を持ち、たくましく未来を切り拓く日振の子の育成				
基本方針		150年の歴史と伝統を誇る本校の歩みを継承し、島の豊かな自然や地域の魅力に親しむことで、日振島への誇りと愛着を育むとともに、自らの手でたくましく未来を切り開く力を備えた児童の育成を目指した学校経営を推進する。				
本年度 重点目標		1 確かな学力の定着と向上 2 生徒指導の充実 3 働き方改革の推進 4 地域との連携				
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
確かな学力の定着と向上	① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析結果を基に、「身に付けさせたい力(学習の目標)」の明確化を図り、組織的に推進することができた。	・分析資料の作成		後期のみ	
			・具体的な対策の実施			
	② 授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業モデル「N見方・考え方を変える」を視点に授業改善に努めた。  ねらいを明確にした分かる授業を行った。	・教師アンケート	A	A	
			・保護者アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	A		D
	③ 家庭学習の充実	一人1台端末(iPad)やEILS(コンテンツバンク等)の活用により、個別最適な学びを推進したり学習内容の定着を図ったりした。	・教師アンケート	A	A	
			・保護者アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	A		
	④ 読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行つた。	・教師アンケート	A	C	
			・保護者アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	D		
	⑤ ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする児童生徒の育成に努めた。	・教師アンケート	A	A	
			・保護者アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	A		
(成果と課題) ○各授業1時間で身につけさせたいことを意識して、授業に取り組むことができた。鶴島小学校との交流授業を行い、多人数の中での対話的・協働的な学びを体験させることができた。 ●知識定着のための振り返りがうまく行えていなかった。姿勢や発表の仕方など、粘り強く指導していきたい。(改善策等) ・一時間一時間の授業を大切にし、単元ごとの振り返りから行っていく。 ・あいさつ、はいの返事、姿勢など、オンとオフをきちんと切り替えるよう粘り強く指導する。						
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	A	A	
			・保護者アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	A		
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	・教師アンケート	A	A	
			・保護者アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	A		
	③ 関係機関との連携	不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート	A	A	
			・保護者アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	A		
	④ 自己肯定感 等	いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速且つ適切な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート	A	A	
			・保護者アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	A		
(成果と課題) ○ルールを守って安全に学校生活を送ることができた。保護者・地域の方々の見守りのおかげで、のびのびと心理的安全性の高い学校経営ができている。 ●自分から進んで、奉仕の活動をしたり、感謝の気持ちが言葉に表せていない。子供社会の中で生活する社会性を伸ばしていく必要がある。(改善策等) ・奉仕の言動ができたときには、しっかりと賞揚し価値付け・意識付けをする。 ・大きなコミュニティの中でも自分をしっかり出せるような体験活動を、多く経験させる。						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価			
働き方改革	① ワーク・ライフ・バランス	時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指し、校内で設定した業務改善施策を基に、組織的な働き方改革に努めた。	・教師アンケート	A	A			
			・「出勤・退庁調査」の分析と活用	B				
	② 働きやすい環境づくり	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。(枠を移動しました。)	・教師アンケート	A	A			
			・教師アンケート	A	A			
(成果と課題)	③ 他の教職員のサポート体制の充実	休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。 教職員同士が仕事を手助けしたり、スクールサポートスタッフ、地域人材などを積極的に活用したりして、職場の仕事のサポート体制が充実した。	・教師アンケート	A	A			
			・教師アンケート	A	A			
			・教師アンケート	A	A			
			・教師アンケート	A	A			
(改善策等)								
・放課後の時間を有効に活用し、業務の効率化により自己研修の時間を確保する。 ・テレワーク等をうまく活用し、土日の過ごし方を工夫する。								
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価			
地域との連携	① 学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。	・教師アンケート	A	A			
			・教師アンケート	A				
		学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、熟議等の結果を基に、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・保護者アンケート	A				
			・地域アンケート	A				
	② 情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート	A	A			
			・保護者アンケート	A				
			・地域アンケート	A				
	③ 来校・相談体制	来客・電話対応を丁寧に行い、保護者や地域の方々の声をしっかりと聞くことで、来校しやすく、相談できやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A			
			・保護者アンケート	A				
			・地域アンケート	A				
(成果と課題)								
○地域の方々の協力のおかげで、島全体で児童を見守る体制ができていることに感謝したい。 ●運動会、文化祭(150周年記念行事)等について、引き続き話し合いを進めていく必要がある。								
(改善策等)								
・日振島大運動会実行委員会等で御意見をいただき、改善を加えてよりよいものにしていく。 ・これからも児童の様子や学校の取組を積極的に発信することにより、学校をより身近な存在と感じてもらい、地域と共に児童を育成していくとする気運を高める。。								

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満